

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や検体を用いて行います。このような研究は、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（平成29年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

多発性硬化症における宿主因子に関する遺伝学的研究

[研究機関名・長の氏名]

北海道大学遺伝子病制御研究所 村上 正晃

[研究代表機関名・研究代表者名]

九州大学大学院医学研究院神経内科学・磯部 紀子 教授

[研究責任者名・所属]

北海道大学遺伝子病制御研究所大学院医学院分子神経免疫学教室・村上 正晃 教授

[研究の目的]

本研究により、人種差を考慮した多発性硬化症の病因の解明およびそれに基づく画期的な新規治療法の開発に繋げることを目的としています。

[研究の方法]

対象となる患者さん

九州大学および共同研究機関において多発性硬化症または視神経脊髄炎と診断された方で、研究目的で検体を保管された患者さんおよび比較対照として、多発性硬化症または視神経脊髄炎と診断されていない患者さんもしくは健常者の方（北大病院の患者さんは含まれません）

利用する検体・カルテ情報

[検体]

血液

[カルテ情報]

年齢、生年月、性別、身長、体重

病歴に関する情報：発症年齢、罹病期間、再発回数、EDSS等（EDSS = 多発性硬化症における重症度分類）

検査所見に関する情報：

血液所見：血球数、一般生化学、既知の自己抗体、抗アクアポリン4(AQP4)抗体

抗 myelin-oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体、血清中サイトカイン、肥満遺伝子関連蛋白、抗 John Cunningham ウイルス (JCV) 抗体、疾患関連感染症抗体
髄液所見:細胞数、生化学、ミエリン塩基性蛋白、IgG index、oligoclonal bands(OCB)、髄液サイトカイン

MRI 所見: 脳および脊髄 MRI

神経生理所見: 視覚誘発電位、運動誘発電位、体性感覚誘発電位、神経伝導検査
治療法に関する情報

副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬、疾患修飾薬、分子標的薬等の使用状況

上記の検体・情報は、北海道大学遺伝子病制御研究所大学院医学院分子神経免疫学教室に送付され、多発性硬化症・視神経脊髄炎の発症・重症化に関わる血中エクソソームについて測定・解析を行います。

[研究実施期間]

研究許可日 ~ 2026年5月31日

[業務委託施設]

Repertoire Genesis 株式会社

[共同研究機関名・研究責任者名]

広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学・教授・丸山 博文

大阪大学大学院医学系研究科神経内科学・准教授・奥野 龍禎

山口大学大学院医学系研究科システム統御医学系専攻脳・神経病態制御医学領域神経内科学分野・教授・神田 隆

愛媛大学大学院医学系研究科脳神経内科・老年医学講座・准教授・越智 博文

産業医科大学神経内科学講座・准教授・岡田 和将

独立行政法人 国立病院機構北海道医療センター神経内科・臨床研究部長・新野 正明

札幌医科大学脳神経内科学講座・教授・下濱 俊

久留米大学医学部医学科医化学講座・教授・山本 健

公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院脳神経内科・嘱託医・田中 正美

偕行会城西病院神経内科・医師・田中 正美

公益財団法人老年病研究所・所長・岡本 幸市

福岡中央病院脳神経内科・部長・中村 優理

Department of Neurology, University of California, San Francisco・教授・Stephen L. Hauser (試料・情報の収集・解析)

International Multiple Sclerosis Genetics Consortium (IMSGC) 連絡機関:

The John P. Hussman Institute for Human Genomics (HIHG) Biorepository, University of Miami・准教授・Jacob L. McCauley; Department of Neurology, University of California, San Francisco・教授・Sergio E. Baranzini

Medical Image Analysis Center (MIAC), CEO・Jens Würfel

Discipline of Paediatrics and Child Health, The Children's Hospital at Westmead Clinical School, The University of Sydney・教授・Russell Dale

International NMO Genetics Consortium (INMOGC) 連絡機関:

University of Oxford・教授・Lars Fugger

International Neurological Diseases working GrOup (INDIGO)連絡機関:

Department of neurology, University of California, San Francisco・教授・Jorge R. Oksenberg

多発性硬化症生体試料バンク・九州大学大学院医学研究院神経内科学教授・磯部 紀子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報・検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

- ・ 北海道大学遺伝子病制御研究所大学院医学院分子神経免疫学教室
教授 村上 正晃

北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目 電話 011-706-5120 FAX 011-706-7542